

8月6日（木） 総務文教常任委員会

調査件名

- 広野駅周辺開発について
- 移住定住事業について

総務文教

広野駅周辺開発

● 駅東側産業団地

令和8年4月に進出に向けて連携協定を締結した、医療関連分野の部品製造メーカーである（株）金子製作所が補助金の申請を完了したとのことでした。

● 新広野駅

広野駅舎改修事業については、令和8年9月に予定されていた簡易Suica改札の移設がJR側の都合により12月に変更になったとのことでした。

● 駅東ニュータウン

広野駅東ニュータウンの区画の販売状況については、47区画中、売却済みの区画が8区画となったものの、商談中の区画は0区画となったとのことでした。8月からは月に1度住宅メーカーと打ち合わせを行うこととしたとのことでした。

● 広野駅西側

ロータリー整備事業町が行う不動産鑑定評価は予定通り実施され、鑑定結果を基に、用地取得についてJR東日本と協議を開始したとのことでした。今後は、令和9年度に用地取得、令和10年度に整備工事を実施する見込みとのことでした。

また、9月19日開催予定のHIRONOX STYLE2026において、宅地分譲・移住定住PRゾーンを設け、支援金制度等の情報を発信することとした。

総務文教

移住定住事業

● 相談窓口等体制

役場内に相談窓口を開設し、相談員を常駐させ、移住された方や移住を検討する方の暮らしの相談に対応しているとのこと、子どもも子育て、就労関係の相談が多いとのことでした。

また、県外のイベントや移住フェアに出展し、移住の際に役立つ情報発信を行っているとのことでした。

農業委員会と相談窓口が共同で出展対応した「福島くらし&就農フェア」や生活圏が類似した3市町村合同で実施した「檜葉町・いわき市・広野町合同移住セミナー」など、令和7年度は11回の出展を行い、令和3年度から令和7年度までの5年間で587件の相談に対応したこととした。



役場内の移住定住相談窓口

報告

を報告します

委員会

各常任委員会の活動状況

産業厚生

子育て支援

● 子育て支援施策

広野町では、「第3期広野町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、各種事業を進め、妊娠期から出産、乳幼児期、学齢期まで、切れ目のない支援体制の構築を進めており、経済的負担の軽減、保育・教育環境の充実、相談

体制の強化、地域全体で子育て支援の推進など、多様な施策を展開しているとのことでした。現在町が実施している子育て支援施策は43件あり、対象年齢に合わせた各種事業を行っているとのことでした。

子育て家庭に寄り添い、親子の歩みを支える

産業厚生

空き家対策

● 空き家実態調査

令和8年度においては、空き家実態調査として「候補抽出」、「位置特定」、「所有者特定」、「所有者意向調査」、「調査結果整理」、「GISデータ整備」、「セミナー開催」を内容とする業務委託を令和8年7月29日付けで契約締結したとのことでした。

● 今後の進め方

8月から10月に空き家住宅の候補を特定し、11月から3月に住宅提案、供意欲及びマッチング意向調査として、アンケートを実施し、所有者へ今後の活用について賛否の確認及び空き家バンクへの登録意思があるのかを調査する予定です。

産業厚生

林専道狼山叶沢線

● 整備状況

本事業の進捗率については、令和8年7月末現在で、全体延長4,132.06mのうち、約70%が完成し残り30%となりました。

7工区については、令和8年8月31日までの工期としていました。一部区間に硬い岩盤層が現れ、降雨のたびに道路路面が洗掘されたことから、不陸などの手直し作業が発生し、不測の日数を要し

ため工期を令和8年12月28日まで延長する変更承認手続きを行っており、8月中旬に承認される見込みとのことでした。

さらに、7工区における事業費については、令和7年度林業専用道事業補助金における当町への補助配分額を満了する必要があるため、工事数量を変更し、7工区における事業費増額に係る変更承認手続きを行い、11月に変

更仮契約、12月に議会上程、本契約とするスケジュールでは、従来の8工区と9工区を一つの工区とし、施工延長1,258.66mとする協議を行い、7月に補助金交付決定を受け、8月に入札、仮契約を締結し、9月に議会上程、本契約とするスケジュールで手続きを進めていくとのことでした。

令和8年10月23日発行